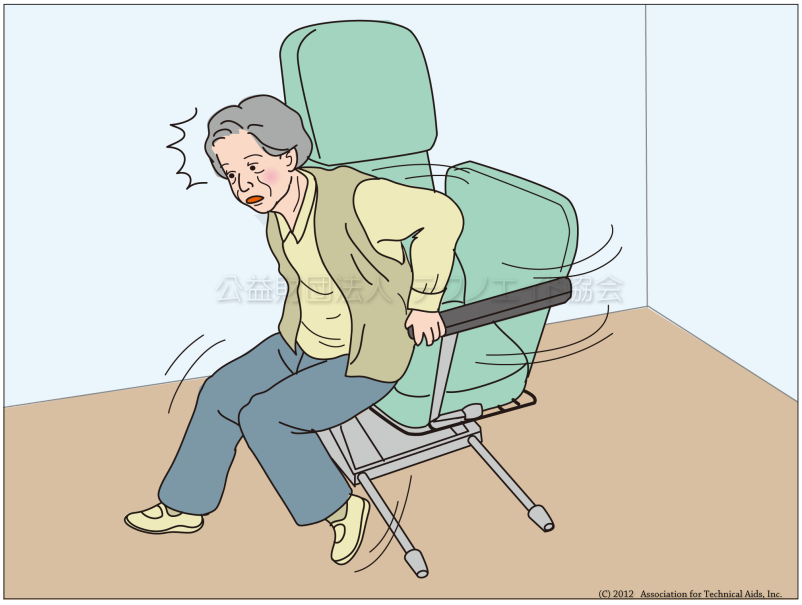
Case：263

座面が回転してバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

回転する座面が固定されていない状態で腰掛けたため、不意に座面が回転して振り落とされそうになった



利用シーン	移乗 立ち座り
主な利用場所	寝室 リビング・居間
介護保険の種目	移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード(CCTA95)	180912(起立・着座補助機構付き座椅子)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

昇降座いすは、あらかじめ決まった角度に座面が回転すると自動的に固定される機構になっていますが、中途半端な角度では固定が効かないため、立ち座りなどの動作は必ず固定された角度で行うことが基本です。福祉用具担当者は、このような取扱上の注意点がしっかりと理解されているかを、利用者や家族からなどの情報で確認できますが、「急いでいてたまたま忘れてしまった」ということもありますので、注意を継続させる声かけも大切です。

参考要因

人：固定されていないとは知らずに座った
人：固定されていない状態だったのを忘れて勢いよく座ってしまった
モノ：取扱い説明書の文字が小さく、注意書きがわかりにくかった
モノ：製品に注意喚起の表示がついていなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.